

事務事業名		雲南市社会福祉協議会法人運営補助事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課			
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	総務G	課長名	和田 誠			
	施策名	(25) 地域福祉の充実		担当者名	石田 誠	電話番号	0854-40-1041 (内線) 2231			
	目的対象	市民	意図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。						
	基本事業名	(075) 支え合う地域づくり		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的対象	市民	意図	地域で支え合う体制をつくる。				中事業	中事業名		
				0	1	1	5	0	2	社会福祉総務管理事業
				0	5	0	5	7	7	社会福祉協議会法人運営事業補助金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
社会福祉法に基づき設置された雲南市社会福祉協議会が、社会福祉関係者、関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指したさまざまな事業、活動が実施されるよう、その運営全般について協議、補助を行う。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
		・補助金交付 ・法人運営全般に関する協議	前年度と同じ。			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 補助金額	千円	103,619	105,833	101,789	105,512
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	社会福祉協議会	ア 社会福祉協議会	法人	1	1	1	1
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
地域福祉活動を推進する	ア 地域の中で福祉ボランティア活動(見守り、声かけなど)をした市民の割合	%	26.3	23.6	23.6	35.4	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
法人運営事業に対する補助金:101,789千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	103,619	105,833	101,789	105,512
		事業費計(A)	千円	103,619	105,833	101,789	105,512
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	2	
		延べ業務時間	時間	100	50	100	
		人件費計(B)	千円	389	194	391	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	104,008	106,027	102,180	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
高齢化率が上昇、進展している状況にある。各地域においては地域自主組織を中心に、地域福祉活動が活発に展開されてきている。	補助金の削減に努めてきた。	社協において、平成25年度から、地域自主組織の福祉部を地区福祉委員会とみなすよう位置づけをえられたことにより、地域一体となって地域福祉活動に取り組めるようになったとの声がある。一方、活動に際して、地域実態に即し、かつ専門的見地からのアドバイスを求める声もある。

事務事業名	雲南市社会福祉協議会法人運営補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	--------------------	-----	-------	-----	---------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？				
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？				
<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	社会福祉協議会、地域、行政がより連携を強化することで、地域福祉に対する意識は高まり、成果はさらに向上してくると考える。		
C 効率性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？				
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		理由	廃止すると社会福祉協議会の運営に影響が生じる。地域での福祉活動の低下に繋がるため、廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？				
<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	(具体的な手段や類似事業名)	理由	社会福祉法に基づいた法人であり、他に存在しない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない				
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		理由	社会福祉協議会に対して行っている補助金を精査・整理し、効率性を高めることで、事業費の削減は可能と考える。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？				
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	補助の効率改善に向けた検討・協議を行なう必要があり、削減余地はない。		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由		市民全体の福祉活動につながるものであり公平・公正である。	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域福祉が進展する上で、社会福祉協議会の役割は非常に大きいものがある。社会福祉協議会の事業・体制について行政も一緒になって協議・検討を行い、より地域福祉が進展するよう環境を整えていく必要がある。		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり				
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																							
	削減	維持	増加																					
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
社会福祉協議会への補助金が、有効かつ効率的に運用されるよう精査・整理する。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						